

総務厚生常任委員会行政視察報告

令和 6 年 1 1 月 2 5 日

総務厚生常任委員会の行政視察を 1 1 月 7 日、8 日の 2 日間の日程で行いましたので、その概要を報告いたします。

1 日目は、埼玉県深谷市において、「書かない窓口について」視察研修を行いました。

深谷市は、平成 3 0 年度総務省業務改革モデルプロジェクトに採択され、BRP 手法による窓口業務の現状分析、ICT を活用した申請手続きの自動化の実証実験を実施し、その後 2 0 1 9 年 5 月に窓口自動化ワーキンググループを発足、2 0 2 0 年 7 月 2 7 日から書かない窓口が開始されました。

取り組み内容としては、申請書の統一化、受付発券機の導入などがあり、手続きに係る人数や人件費の削減、所要時間の短縮などの効果が得られていました。また、2 0 2 5 年 4 月からは他課にも広がり横展開されるなど、さらに取組が進む予定です。

書かない窓口は、職員の適正配置や市民の利便性向上につながる取組として、参考とすべき点が多くありました。

2 日目は、新潟県妙高市において、「ゼロカーボンについて」視察研修を行いました。

妙高市は、2 0 2 0 年 6 月にゼロカーボン推進宣言を表明し、2 0 2 1 年 4 月にゼロカーボン推進条例を施行、2 0 2 2 年 9 月にゼロカーボン実行計画を策定し、2 0 3 0 年までに温室効果ガス 5 0 % 削減及び 2 0 5 0 年のゼロカーボン実現を目指しています。また同時に SDG s の推進も積極的に行っており、自治体 SDG s モデル事業にも選定されています。

具体的な取り組みとして、雪国型太陽光発電設備、中小企業者の脱炭素経営の後押し、省エネ性能の高い住宅の普及促進、二次交通デマンド化、環境保全活動などを実施しています。

雪国という共通点やゼロカーボンシティ宣言を表明している本市において、先進的な取組として参考とすべき点が多くありました。

今回の行政視察の内容は、本市に必要と思われる施策が多くあり、今後の議員活動の参考にしていきたいと思います。

以上、当委員会の行政視察の報告といたします。